



笠間市 愛着が増すDIY

13



一軒家のリフォーム

Kasama City

妻と6歳の長女との3人暮らし。小美玉市のアパートから、広い庭がある戸建て住宅を探し求めて空き家に着目した。信頼できる不動産業者との出会いもあり、庭を含めて200坪超の広さがある築39年の物件を購入。2021年3月に引越した後は、床の張り替えや壁の塗り替えなど大規模なDIYに挑戦した。広い庭にはフルーツの木が植わり、家庭菜園も楽しむ。生活環境を一から作る楽しさに触れ「愛着が持っている」と家族で笑顔を見せる。開放感のある家づくりを実現したHさんの物件選びのこだわりや経緯を聞いた。

Q. 空き家を購入するまでの経緯について教えてください。

引っ越し前は小美玉のアパートで暮らしていたのですが、広い家に住みたいと考え、建売住宅を見学したり不動産屋さんに行ったりしていました。しかし、予算に見合う物件がなかなか見つかりませんでした。建売ですと土地が狭く、魅力を感じませんでした。そんな時に新聞記事で空き家の活用について知ったんです。人口が減少しているのに空いている物件が増えていることを知り、空いているならば活用したいと考えました。予算的に「お得感」があったことも魅力的でした。





Q. 空き家はどのように探しましたか。

最初はインターネットで「空き家 中古」と検索しました。不動産業者が運営するプラットフォームを活用して物件を探しました。その時は空き家バンクについては知らず、空き家バンクのホームページは確認していませんでした。

Q. 購入の決め手は何でしたか。

空き家以外にも建売の物件も見ましたが、最終的にはこの家が妻の心に一番響いたようだったので、この家に決めました。特に、広い庭や日当たりの良さが気に入ったそうです。

初めて物件を見たときは草が茂っていたので正直驚きましたが、室内に入ると想像よりもきれいでした。前の所有者が別荘として使っていた建物ということで、あまり住んでいなかったとのこと。前の使われ方まで分かったことで安心感がありました。

妻によると決め手は「信頼できる不動産屋×DIYできる×お得感×中古住宅」とのことです。今回お世話になった不動産屋さんは、空き家について前向きに相談に乗ってくれたり、希望をよく聞いてくれたりしました。また、空き家バンクを紹介してくれるだけでなく、一緒に市役所に行くなど申請方法を教えてくれました。

勤務先が勝田にあるので、通勤するには遠いとは感じています。ただ、物件が駅近なので助かっています。



Q. DIYの経験は、空き家購入前からございましたか。

DIYは住みながら少しずつ進めたのですが、ほとんど初めての経験でした。やり方はYouTubeで大工さんの動画を見たり、図書館でDIYに関する本を読んだりして学びました。DIYには以前から挑戦したいと思っていたので、最初は楽しい気持ちだったのですが、3・6メートルの角材をトラックで運んだり、半年かけて床を張り替えたりし、根性が必要な作業であることが分かりました。

妻はアレルギーがあったので、抗菌や消臭効果があるという漆喰で壁を塗りました。壁のほか、欄間があった場所も上から漆喰を塗りました。白い漆喰のおかげで部屋が明るくなったと思います。床の張り替えでは無垢の木を使用しました。このほかにも、妻は壁や建具、家具も作りました。また、雰囲気は北欧風を意識して進めました。

